

インドネシア債券市場 — 安定がもたらす投資機会

作成日 2020年1月29日

インドネシア債券の魅力

1. 順調な経済成長とともに、信用力が改善しています。
2. 新興国の中でも、魅力的な金利水準です。
3. ジョコ政権の経済政策により、景気や市場が安定して推移しています。

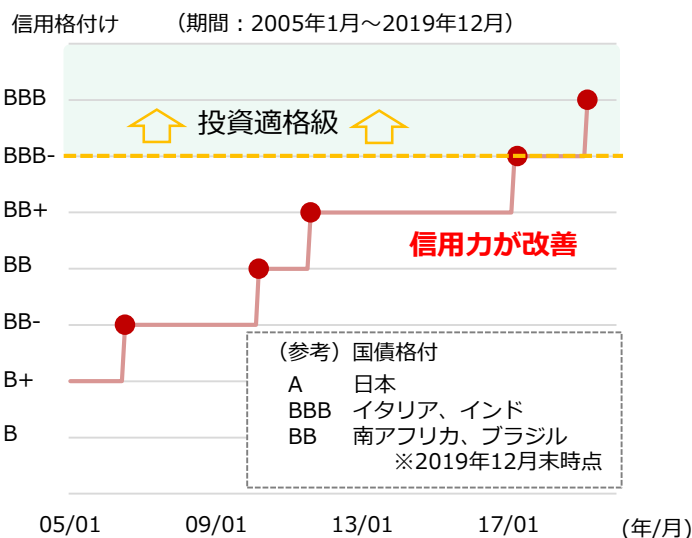
投資家からの信頼が改善

- インドネシアは、民主化に移行^{※1}した2000年代半ば以降、政治が安定したことも功を奏し、高い経済成長を実現しました。
- 税制改革の遅れや拡張的な財政政策を懸念する見方もありますが、財政赤字は比較的低水準^{※2}に抑えられています。外貨準備高は潤沢な水準^{※3}の備えがあり、外的なショックへの耐性が向上しています。
- 経済状況の改善を受けて、同国国債の信用格付けは改善しています。現在は、主要な格付会社から「投資適格級」の評価を受けており、投資家からの信頼が改善しています。

※1：2005年に直接選挙によりユドヨノ政権が誕生。

※2：2019年の財政赤字は、対GDP比2%の赤字。

※3：2019年12月時点では、外貨準備高は輸入額の約9か月分まで積み上っており、目安とされる3か月分を大きく上回っている。
(出所：ファクトセット、インドネシア統計局)

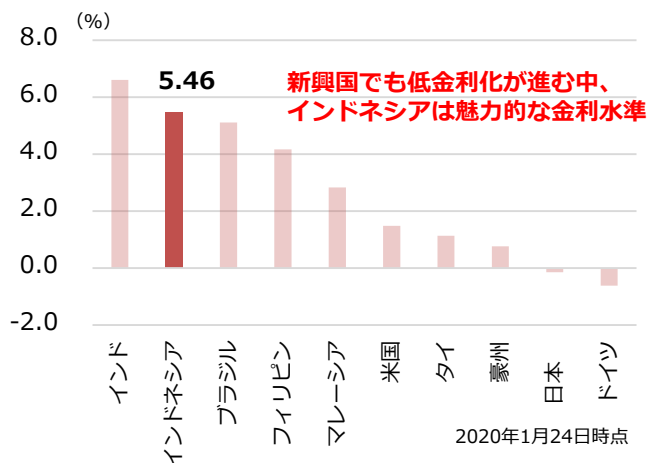
インドネシア国債の信用格付け^{注1}

注1：自国通貨建て長期債の格付。格付変更のみ反映（見直し変更は除く）。
出所：Standard & Poor's社のデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

魅力的な金利水準

- 世界の主要な中央銀行が金融緩和を実施したこともあり、2019年は多くの先進国、新興国において国債金利は低下しました。
- 高い経済成長を続けているインドネシアの国債金利は、新興国の中でも魅力的な金利水準となっていることが見てとれます（右グラフ参照）。

2年国債金利の水準



出所：ファクトセットのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。

ジョコ政権がもたらす安定感

民主的な選挙により大統領が選出された2000年代半ば以降、インドネシアは政治が安定し高い経済成長を実現してきました。特に、2014年にジョコ政権が誕生して以来、構造改革が行われ経済状況が改善しました。2019年にはジョコ政権は2期目に入り、その手腕への期待がより一層高まっています。

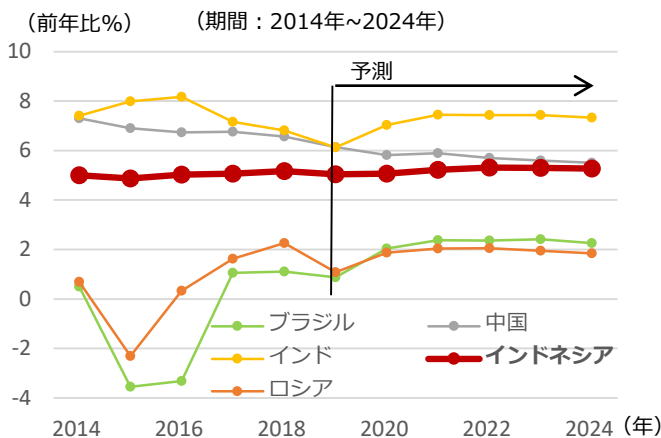
堅調な経済成長

- 2015年以降は、経済成長率※4は5%程度と高い水準を維持しており、今後数年間の見通しも良好です。
- 内需主導型の経済であるため海外の景気変動の影響に大きく左右されず、他の主要な新興国との比較でも、安定感が目立ちます。
- インフレ率※5は、2016年以降は食品価格のコントロールなどが功を奏し、中央銀行がターゲットとする2.5~4.5%程度の水準で安定的に推移しています。

※4：実質GDP成長率（前年比）

※5：消費者物価指数（前年比）

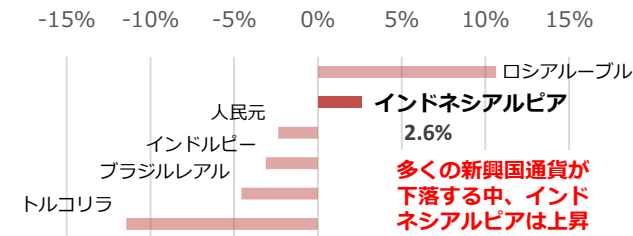
各国の実質GDP成長率



逆風下で上昇したインドネシア通貨

- 2018年に米国が4回の利上げを実施したこともあり、2019年には米ドルが上昇する一方で新興国通貨の多くは下落圧力を受けましたが、インドネシアルピアは対円で小幅に上昇しました。
- 当面は主要中央銀行の緩和的な金融政策の維持が予想される中、経済条件の良い新興国の通貨は見直される機運が高まっています。

新興国通貨の上昇率（2019年）



※2018年末から2019年末にかけての円に対する上昇率

出所：ファクトセットのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

○債券の見通し

政情不安の新興国が多い中で、ジョコ政権下で信用力が改善し、経済状況が高いレベルで安定している高金利のインドネシア国債への投資は魅力的と考えます。

○通貨の見通し

先進国の低金利政策の継続が新興国通貨全体の追い風となる見込みです。新興国の中でも、海外の景気変動の影響を受けにくく、経済的條件の良いインドネシアルピアは、資金流入が期待できる通貨として評価しています。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。